

(公社) 高知県理学療法士協会 令和4年度 第5回 理事会 議事録 (要約)

日 時：令和4年11月16日(水) 18:45~19:45

場 所：Web会議、県士会事務室レジデンスノナミ 107号室

出席者：会長；宮本

監事；市村・栗山

理事；大畑・小笠原・山崎・西村・和田・稲岡・八坂・東・井上

事務室長；山本

部長；総務(岡部)・財務(谷脇)・厚生(相原)・広報(濱尾)・職能(宮崎)・医療(前岡)

福祉(森野)・保健(木下)・学術(島岡)・教育(高芝)・会員区(金岡)

書記；奥田

<議 題>

1. 中間監査報告について(市村監事)

令和4年度の中間監査報告が下記のように報告された。

- ①中止事業はあるものの計画事業に関する予算執行は行われていた。なお、予算案に補正の必要性が生じた場合は適宜対応されたい。執行部は引き続き各部・委員会と協働し、本年度下半期の協会運営に当たられたい。
- ②各部報告書類は事務局提示様式に準じて作成されていたが、提出書類に整合性を欠いている部があり、精査の上、遅滞することなく提出するよう関係役員はその職責を果たされたい。
- ③各部は、新型コロナウイルス感染禍を鑑み、中止事業に関する代替事業などの修正案を理事会に諮り、遅滞することなく会員に広報されたい。
- ④次年度事業計画・予算案の立案に関しては、新型コロナウイルス感染禍を考慮した上で、会員のニーズ、県民の医療・保健・福祉の発展に寄与すべく検討して頂きたい。

2. 2023年度理学療法士講習会の申請について(八坂理事)

「呼吸リハビリテーションの基礎と臨床」というテーマで講習会の申請をすることが事前にメール審議されており、その内容確認がなされた。

3. 第36回県学会の支出の超過について(島岡学術部長)

今年度の高知県理学療法士学会はハイブリッド開催を予定しているが、対面とオンライン開催では、以下の準備物と費用が必要となることが報告の上、審議されたが、予算に見合う運用案を次回の理事会で再検討することとなった。

ハイブリッド開催における必要物品：インターネット回線工事費用、LANケーブル(数十mのケーブル複数)、音響機材(オーディオインターフェイス)など。

業者委託費(株式会社マッドラボ)：1会場あたり1日約500,000円

4. 第37回高知県理学療法士学会学会長について(島岡学術部長)

次年度の学会長候補として中央区域の土佐リハビリテーションカレッジ 竹林 秀晃会員(学術部副部長)が提案され、審議の結果承認された。

5. 会員の入会・復会・休会・退会(10月)について(岡部総務部長)

以下の内容が報告された。

入会：3名：累積54名、復会：1名：累積4名、退会：1名：累積10名、転入：2名：累積11名

転出：1名：累積5名

会員数 在会 1,410名 休会 247名 計 1,657名(令和4年10月31日時点)

<報 告>

1. 令和4年第2回運営会議添付資料について（山本事務長）

以下の内容が報告された。

- ①経理処理システムについて、本年度から構築し約2年間の経過を確認したうえで令和5年度末期に総括して検討したい。
- ②会議費・交通費などの振込料は、月に10,000円程である。
- ③講師料・講演料などは、会議費などと同様に各部(区)で月単位の集計表(月報)にまとめてCybozu手当清算書で支払い請求をする。
- ④会議費・交通費などの振込みは、これまでどおり個人単位でまとめる場合、「振込明細(書)」を支払先(会員)にメールもしくはハガキで送る。

2. 本協会推薦者の出席旅費規程について（井上事務局長）

四国理学療法士記念式典出張旅費に関しては、支給の限度額30,000円とし、関東甲信越への出張旅費は80,000円を上限とすることが報告された。

また、西村理事より今後は、パッケージツアーの場合、事前に出張先を申請することで、事務室が出張手配を行うという旨が報告された。

以上